

プレスリリース
PRESS RELEASE

アーツ前橋企画展

「小泉明郎 捕われた声は静寂の夢を見る」

2015 年 3 月 21 日（土）～ 6 月 7 日（日）

戦後 70 年—私たちの身体と精神を映し出すアーティスト、初の大規模個展



はじめに

本展は映像作品を制作する群馬県出身のアーティスト、小泉明郎にとって初の大規模な個展です。小泉は、イギリスで映像表現を学んだのち、国内外で多数の滞在制作を行うとともに、映像やパフォーマンスによる作品を発表しており、若くしてニューヨーク近代美術館をはじめ国内外の美術館から高い評価を受け、世界的に注目されている日本人アーティストのひとりです。

多くの作品で演出を指示し、偶発的なアクションを引き起こさせる作品からアーティスト自身がパフォーマンスを行う作品などを制作してきました。いずれも人間が登場する映像作品で、人間の感情を吐露するような演出が施され、見る者はそれに感情を揺さぶられていきます。私たちの身体と精神はどのようにして〈人間〉を形作っているのか。彼は、ドキュメンタリーや映画とは異なる映像表現によって、私たち〈人間〉の営みを捉えます。

本展は、初期作品から近作までの映像作品やドローイング、塑像作品までを一覧することができる個展になります。今からちょうど70年前に前橋空襲を体験した方の語りや、視覚障害を持つ方に絵を描いてもらうことで制作された新作も展示されます。

アーツ前橋

作家略歴

小泉明郎（こいずみ めいろう）

1976 年群馬県邑楽郡生まれ。横浜市在住。1999 年国際基督教大学卒業。その後、チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン(ロンドン)にて映像表現を学ぶ。アーカスプロジェクト 2003(茨城)、ライクスアカデミー(アムステルダム)等、国内外で滞在制作し、映像やパフォーマンスによる作品を発表している。主な個展に「Project Series 99: Meiro Koizumi」 ニューヨーク近代美術館（2013 年）、「Stories of a Beautiful Country」 Centro de Arte Caja de Burgos[CAB]（ブルゴス/スペイン、2012 年）、「MAM Project 009：小泉明郎」森美術館（東京、2009 年）ほか、「フューチャー・ジェネレーション・アート・プライズ 2012」ピンチュック・アートセンター（キエフ/ウクライナ、2012 年）、「インビジブル・メモリー展」原美術館（東京、2011 年）、「リバプール・ビエンナーレ 2010」（2010 年）、「メディア・シティ・ソウル 2010」（2010 年）、「第 1 回あいちトリエンナーレ」（2010 年）などに参加。2012 年には上毛芸術文化賞を受賞している。



小泉明郎 ポートレート写真

開催概要

【展覧会名称】「小泉明郎 捕われた声は静寂の夢を見る」

【会 期】2015 年 3 月 21 日（土・祝）～ 6 月 7 日（日） 68 日間

【開 館 時 間】11 時～19 時（入館は 18 時 30 分まで）

【休 館 日】水曜日（祝日にあたる 4 月 29 日、5 月 6 日は開館し、翌日休館）

【会 場】アーツ前橋 地下ギャラリー

【観 覧 料】一般：500 円／学生・65 歳以上・団体：300 円／高校生以下：無料

※4 月 12 日（日）は無料（前橋中心商店街ツナガリズム祭り）

※障害者手帳等をお持ちの方と介護者 1 名は無料

※以下のいずれかの条件でご来館の方は 300 円

①リピーター割：チケットの半券をお持ちの方（1 回のみ有効）

②ペア割：2 日、22 日に来館された方

③トワイライト割：17 時以降に来館された方

【主 催】アーツ前橋

【助 成】平成 26 年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

【後 援】朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、
毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信
社、群馬テレビ、エフエム群馬、まえばし C I T Y エフエム

■同時開催

【展覧会名称】「Art Meets 02 大西伸明／相川勝」

【会 期】2015 年 3 月 21 日（土・祝）～ 6 月 7 日（日） 68 日間

【開 館 時 間】11 時～19 時（入館は 18 時 30 分まで）

【会 場】アーツ前橋 ギャラリー1

【観 覧 料】無料

【主 催】アーツ前橋

【助 成】平成 26 年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

■関連イベント

小泉明郎 アーティストトーク

日 時：3月21日（土）16：00～18：00

会 場：ROBSON COFFEE アーツ前橋店

参加費：500 円(1 ドリンク付)

定 員：先着 40 名

対談 小泉明郎×原田恒弘（作品《捕らわれた声》出演者）

日 時：4月19日（日）14：00～16：00

会 場：アーツ前橋スタジオ

参加費：無料

対談者：原田恒弘（前橋市在住。7歳で体験した前橋空襲について、戦後50年を機に著作や講演を通じて伝える活動を行っている。）

スクリーントーク 小泉明郎

日 時：5月5日（火・祝）

会 場：シネマまえばし（アーツ前橋と同じ建物の3階）

参加費：無料

定 員：先着 100 名

内 容：小泉明郎が強く関心を持つ戦時中の国策映画などを上映し、本人による解説トークを行います。原節子らの戦後日本映画を支える人材が関わる名作を上映予定。詳しくは、アーツ前橋公式ホームページをご覧ください。

学芸員によるギャラリートーク

期 日：4月11日（土）、4月25日（土）、5月23日（土）

時 間：14：00～（約30分）

会 場：アーツ前橋ギャラリー

申込み：事前申込みは不要です。開始時間までに1階総合案内へお越しください。

■見どころ

- 1) ニューヨーク近代美術館のプロジェクトシリーズに取り上げられるなど、現在 38 歳の日本の若手アーティストとしては、国際的に高い評価を得ています。
- 2) 今回はデビュー作から新作までをそれぞれのテーマによって結びつけ合う作品を小泉が選択し、さらに、アーツ前橋の展示空間に合わせて、音の効果や鑑賞体験を想定して構成しています。このことによって、小泉が関心を持つテーマを分かりやすく、また深く理解できるような展覧会になっています。
- 3) 展示構成には、都市生活者のコミュニケーションやナショナリズムを題材にした作品、戦争を実際に体験した人物の語り、あるいは視覚障害を持つ人物の身振りを撮影した作品が含まれます。そのような作品が複数並ぶ構成を通して、ある特殊な体験が現代社会を生きる人間の身体と精神の問題として、もっと普遍的に受けとめられるのではないかと考えています。
- 4) 小泉の撮影手法は、ほとんどの場合でカメラが固定されており、与えられた演出によって出演者が示す反応を繰り返し記録する実験のような方法をとります。脚本をもとに演技を明確に指示していく映画や、ひたすら記録対象を追うドキュメンタリーとも異なる独特の方法を用いています。
- 5) 新発表作品となる《捕らわれた言葉／Trapped Words》（2015 年）は、展覧会会場の後半に展示される予定の作品です。死者 535 名、市内住民の半数以上が被災したと言われる 1945 年 8 月 5 日の前橋空襲から今年で 70 年になります。その時に比刀根橋近くの防空壕で起きた悲惨な体験を現在へ語り継いでいる原田恒弘さんにインタビューを行い、それをもとに制作された作品です。

【主な出品作品】※《作品名》（制作年）

《無題／Untitled》（2000 年）

《僕の声はきっとあなたに届いている／My Voice Would Reach You》（2009 年）

《若き侍の肖像／Portrait of a Young Samurai》（2009 年）

《ビジョンの崩壊／Defect in Vision》（2011 年）

《捕われた言葉／Trapped Words》（2014 年）

その他新作映像作品、ドローイング、塑像作品など計 17 作品を展示

■貸出図版

1. 小泉明郎《捕われた言葉／Trapped Words》 2014 年 シングルチャンネルビデオ
Courtesy of the artist and Annet Gelink Gallery



2. 小泉明郎《無題／Untitled》 2000 年 シングルチャンネルビデオ Courtesy of the artist
and Annet Gelink Gallery



3. 小泉明郎《二重投影 #1／Double Projection #1》 2013 年 2 チャンネルビデオ Courtesy
of the artist and Annet Gelink Gallery



4. 小泉明郎《若き侍の肖像／Portrait of Young Samurai》 2009 年 4 チャンネルビデオ
Courtesy PinchukArtCenter/ Photo by Sergey Illin Courtesy of the artist and Annet Gelink Gallery



5. 小泉明郎《祭壇画 #3／Altarpiece #3》 2014 年 紙、チャークール Courtesy of the artist and
Annet Gelink Gallery



アーツ前橋企画展「小泉明郎 捕われた声は静寂の夢を見る」広報用画像申込書

アーツ前橋 広報担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○をつけてください。画像（JPEG）をメールにてお送りいたします。

* 本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供致します。個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。

* 掲載にあたっては、写真に添付してあるキャプション・クレジット等を正確に表記してください。

なお、作品名の英語表記については、省略可。

番号	画像キャプション
1	小泉明郎《捕われた言葉／Trapped Words》 2014 年 シングルチャンネルビデオ Courtesy of the artist and Annet Gelink Gallery
2	小泉明郎《無題／Untitled》 2000 年 シングルチャンネルビデオ Courtesy of the artist and Annet Gelink Gallery
3	小泉明郎《二重投影 #1／Double Projection #1》 2013 年 2 チャンネルビデオ Courtesy of the artist and Annet Gelink Gallery
4	小泉明郎《若き侍の肖像／Portrait of Young Samurai》 2009 年 4 チャンネルビデオ Courtesy PinchukArtCenter/ Photo by Sergey Illin Courtesy of the artist and Annet Gelink Gallery
5	小泉明郎《祭壇画 #3／Altarpiece #3》 2014 年 紙、チャークール Courtesy of the artist and Annet Gelink Gallery

媒体情報 * できるだけ詳しくご記入ください。

掲載誌：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当者名：
所在地：	
TEL：	FAX：
E-MAIL：	

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
- ・写真を掲載する場合は、写真に添付してあるキャプション・クレジット等を正確に表記してください。ただし、作品名に日本語と英語表記がある場合はどちらかだけでもかまいません。
- ・取材、収録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。

お問い合わせ先

アーツ前橋

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 担当 山田（広報担当）、吉田（学芸担当）

〒371 - 0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

TEL : 027-230-1144

FAX : 027-232-2016

ホームページ : <http://artsmaebashi.jp>

E-MAIL : artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内

●公共機関

JR 前橋駅から徒歩約 10 分

上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約 5 分

●自動車

関越自動車道 前橋 I.C から車で
約 15 分

